

44 立待岬

断崖絶壁から津軽海峡を望む景勝地

電停の終点「谷地頭」から足を伸ばすと現れる、函館山の突端にある岬です。市街地から見ると、山の左側に位置します。海拔約30mの断崖の上に立つ展望場所はハマナスの群生地で6月中旬前後が見頃。目の前には本州と北海道を隔て、白波の浮き立つ荒々しい津軽海峡が広がります。敷地の一角には与謝野寛・晶子の歌碑が建つほか、岬の手前には石川啄木一族の墓があります。なお、「立待」の名称は、アイヌ語の「ピウス」(魚をヤスで仕留めるために待ち伏せする岩の上)を意識したなど、諸説が存在します。



住所	〒040-0045 函館市住吉町16
電話番号	0138-21-3453 (市コンベンション推進課)
FAX番号	0138-21-3324
営業時間	24時間 (12~3月の終日、4~11月の20:00~6:00、7月13日は車両通行止め)
定休日	無
駐車場	有・40台(身障者用1台を含む)、 バス専用10台
アクセス	函館空港から車で約30分 JR函館駅から車で約10分 函館港フェリーターミナルから車で 約25分

料金／
見学無料
備考／
売店、公衆トイレ



岬の先に広がるのが津軽海峡



天気良ければ本州最北端の岬まで見渡せる風景